

令和6年度取組状況

ものづくり工学科 AIスマート工学科 准教授 佐藤 孝治

取組状況	
教育	<ol style="list-style-type: none">1. 情報システム基礎(通年)を開発した。ITパスポートレベルの知識習得を目標とし、情報システムにかかわる知識を網羅的に解説した。また、前・後期1回ずつ、学生が自ら調査しプレゼンテーションを行う演習を行った。その結果、情報システムへの理解を深めるとともにチーム活動や資料作成、プレゼンテーション力の向上に寄与した。2. 情報処理(PBL型授業/通年)を開発した。チーム活動を重視し、課題発見から模擬アプリ開発までを通して、実際に社会で利用されるフレームワークやツールの利用を実践、習得させた。これによりプロダクトをリリースするまでのステップや持つべき視座等の理解に寄与した。3. ゼミ、卒業研究では社会課題を解決する技術やプロダクトをテーマとし取り組み、ビジネス創造コンテストへの応募を実施した。
研究	<ol style="list-style-type: none">1. コースの実験実習用環境の充実 現在、製造業では仮想ワークステーション上でCADやCAEを使用したデジタルものづくりが主流となっている。昨年度は本コースにおいてもデジタルものづくりを修得するべく、製造業で実現している環境に準じた実習用環境を構築した。今年度は実習用環境をより充実させるべく、ネットワークの延伸の設計を実施した。2. AI開発環境の充実 実験実習や卒業研究などで利用可能な深層学習の環境において、4年生の実験実習や5年生の卒業研究を実施した。
社会貢献	<ol style="list-style-type: none">1. ものづくり・科学教室、体験入学 ・中学生を対象に Raspberry Pi の基礎講座を開講した2. OPC講座 ・中学生を対象に「ドローンプログラミングチャレンジ」を開講した3. 若手技術者支援講座 ・「ICTの基礎」を開講した